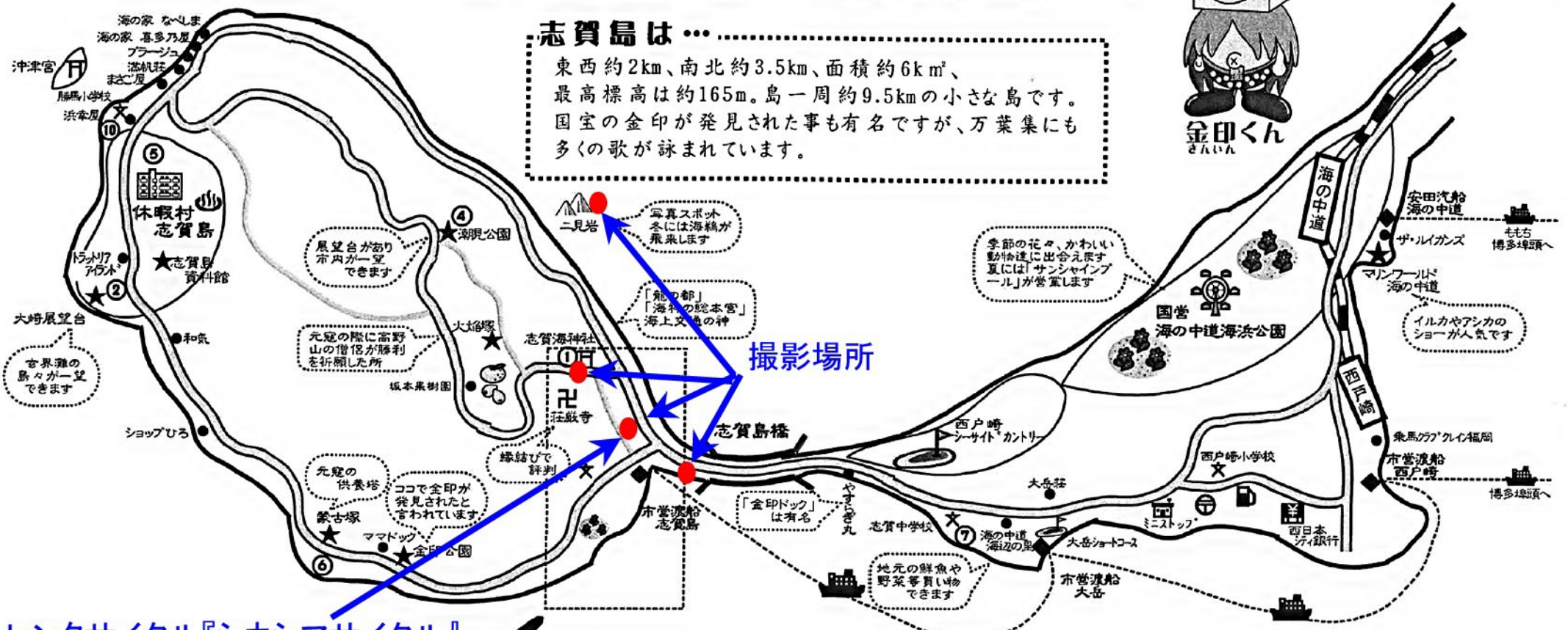


ようこそ 志賀島へ



志賀島は...
 東西約2km、南北約3.5km、面積約6km²、
 最高標高は約165m。島一周約9.5kmの小さな島です。
 国宝の金印が発見された事も有名ですが、万葉集にも
 多くの歌が詠まれています。



レンタサイクル『シカシマサイクル』



- 万葉歌碑**
- ①1号碑 志賀海神社の境内
 - ②2号碑 アイント 裏手の丘
 - ③3号碑 志賀島小学校前の海岸
 - ④4号碑 潮見公園
 - ⑤5号碑 休暇村前(荒雄の碑)
 - ⑥6号碑 蒙古塚前の海岸
 - ⑦7号碑 志賀中学校の校庭
 - ⑧8号碑 志賀島小学校の体育館前
 - ⑨9号碑 3号碑西200m
 - ⑩10号碑 中津宮の海岸

国宝『金印』

西暦1784年(天明4年)志賀島西側海岸の田を耕している時に偶然発見されました。「後漢書」に、「西暦57年(日本では弥生時代)、奴の国の使者に光武帝(皇帝)より印綬を授ける。」とあり、この金印の事といわれています。「かんのわのなのこくおう」と読むのが定説となっています。

明治時代に国宝となり、昭和29年に改めて第一級の国宝に指定され国立博物館に保管されました。昭和54年黒田家から福岡市に寄贈され、現在は福岡市博物館にて一般公開されています。

